The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	目で見るWHO　第85号　表紙・目次等
Author(s)	大和, 泰隆
Citation	目で見るWHO. 2023, 85, p. 1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/92786
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ISSN 2434-7205

目で見る WHO

2023 夏号

No.85

Visual Journal of Friends of WHO Japan

公益社団法人
日本WHO協会

CONTENTS

P1	ごあいさつ	大和　泰隆
P2	巻頭特集	
	医薬品をめぐる「知的所有権」: コロナ・パンデミックは独占から共有、競争から協力への道を切り開くか?	稲場　雅紀
P6	セミナー・イベント報告	
	1. ワンワールドフェスティバル2023	日本WHO協会担当者一同
	2. WHO西太平洋地域 第4回WHO協力センターフォーラム	髙野　友花　他
	3. 第53回日本看護学会学術集会　国際部企画実施報告	木澤　晃代
P18	NGO・団体紹介	
	神戸発、国際協力NGO「PHD協会」の歩みと未来への挑戦	坂西　卓郎
P20	国際保健を学べる大学・大学院	
	愛知県立大学看護学部	柳澤　理子
P22	WHO職員日記	
	「健康システム」の構築をめざして	岡安　裕正
P24	WHOニュース　2月／3月／4月	林　正幸 渡部　雄一
P30	関西グローバルヘルス(KGH)の集い	
	オンラインセミナー第6弾　第3回:医療通訳のしくみづくり	戸田　登美子
	Global Café 2023春　途上国での外科治療について考える	安田　直史
P32	書籍紹介コーナー	柳澤　沙也子 戸田　登美子
P33	WHO Global Health Days	
P34	日本WHO協会沿革／WHO憲章	
P36	WHOの地域事務局と加盟国	
P37	寄付者のご芳名／編集委員のページ	柴原　史歩
P38	入会案内	

ごあいさつ

日本WHO協会理事
NPO法人エコデザインネットワーク理事
大和　泰隆

父の突然の死から23歳で家業（建築業）を引き続ぎ8年目を迎えた頃から原因不明の40度を超える発熱が出始め、満足に仕事が出来ない状況に陥りました。様々な治療を試みても症状が改善することはなく、知人から半ば強制的に受けさせられた心理的なセミナーの後、まったく熱が出なくなりました。セミナーの中で今までの自分の生き方や考え方に気づいただけの結果です。それを契機に家業を辞め新たな生き方を模索することにしました。

アメリカの歯科医療コンサルタントから「予防（口腔ケア）を徹底すれば、患者は増え経営は安定する」と指導を受け、その場に居合わせた歯科関係者は、内容のシンプルさに驚き、根底にある思いに、仕事への使命感を感じ、やりがいを見いだしていました。

その頃の日本人の口腔内の状態は、DMFT指数*は高く、歯周病が蔓延していました。予防の為に自費で定期的に歯科医院に通う習慣を持つ人はまれでした（疾病保険で定期検診はできません）。

一方歯科医院の方では、予防の必要性は理解していても目の前の治療が精一杯で、患者教育に時間を割く余裕もありませんでした。幸いなことに同じ環境下でも負担を覚悟で予防（口腔ケア）に取り組み、多くの患者の健康に貢献しつつ持続的な経営を可能にしている歯科医院が出始めました。

健康な口腔状態を維持するにはセルフケアと適切なプロケアを徹底する必要があります。その為に患者の自立性を高める教育に取り組み、双方に負担のない方法を構築することで、患者は自らの健康を守る為に自らの意思で、不具合や痛みがなくとも歯科医院に定期的に通い始めます。患者の口腔内は健全な状態に保たれ、生涯自分の歯で暮らすことが可能となり、その結果患者が増え続け経営が安定します。そこには患者と医師の健康への熱い思いが大きく関わっています。

「口は健康の入り口です」。歯科では健康を維持することが可能となりました。医療の目的は病を根絶することです。しかし医学が進歩しても病は根絶できていません。日本WHO協会の役割は、予防の徹底やセルフケアの重要性を伝え、病にならない為の知恵を人々に周知する事です。コロナ禍で医療や薬に恐れや不信感持った人々がかなり増えた今こそ、グローバルヘルスケアを提唱する協会の存在価値が問われる時です。全ての医療関係者と全ての人々が共に「病にならない」効果的な方法を構築し実践しましょう。手遅れになる前に。

2023年7月

＊DMFT指数とは、虫歯を経験した歯の数を意味する歯科学の用語です。「D」decayed（むし歯）「M」missing（抜去された）「F」filled（充填された）「T」teeth（歯）という意味があり、今まで虫歯を経験した歯の数を示します。